

水門・樋門ゲート設計要領（案）正誤表

第5刷（H28.1発行）用

頁	行数	誤（現行）	正	作成年月
210	下から 5～7 行目	M:ドラム係数 1 モータ 2ドラム又は 1 モータ 1ドラム場合 M=1 2 モータ 2ドラムの場合 M=1/2	M:1/(1ドラムあたりのワイヤロープ本数) 一般的に、1 モータ 2ドラム、2 モータ 2ドラムおよび 1 モータ 1ドラムで、1ドラムあたりのワイヤロープ本数 が 1 本の場合 M=1 1 モータ 1ドラムで 1ドラムあたりのワイヤロープ本数 が 2 本の場合 M=1/2	H30.6
355	上から 13～16 行目	最大曲げモーメント M $M = \frac{p_2 \cdot l_b}{2} (2l_1 - 2l_a - l_b) + 2S_1 \cdot l_1$ $= \frac{0.775 \times 9.81 \times 1.0}{2} \times (2 \times 2.550$ $- 2 \times 1.000 - 1.550) + 2 \times 3.581 \times 2.550$ $= 24.155(\text{kN} \cdot \text{m})$	最大曲げモーメント M $M = \frac{p_2 \cdot \alpha \cdot l_b}{2} (2l_1 - 2l_a - l_b) + 2S_1 \cdot l_1$ $= \frac{0.775 \times 9.81 \times 1.0 \times 1.550}{2} \times (2 \times 2.550$ $- 2 \times 1.000 - 1.550) + 2 \times 3.581 \times 2.550$ $= 27.396(\text{kN} \cdot \text{m})$	H30.5
358	下から 1 行目	$\sigma_t = \frac{M}{Z_1}$ $= \frac{24.155 \times 10^6}{1716.9 \times 10^3}$ $= 15(\text{N}/\text{mm}^2) < \sigma_a = 120(\text{N}/\text{mm}^2)$	$\sigma_t = \frac{M}{Z_1}$ $= \frac{27.396 \times 10^6}{1716.9 \times 10^3}$ $= 16(\text{N}/\text{mm}^2) < \sigma_a = 120(\text{N}/\text{mm}^2)$	H30.5
359	上から 2 行目	$\sigma_c = \frac{M}{Z_2}$ $= \frac{24.155 \times 10^6}{2463.3 \times 10^3}$ $= 10(\text{N}/\text{mm}^2) < \sigma_a = 88(\text{N}/\text{mm}^2)$	$\sigma_c = \frac{M}{Z_2}$ $= \frac{27.396 \times 10^6}{2463.3 \times 10^3}$ $= 11(\text{N}/\text{mm}^2) < \sigma_a = 120(\text{N}/\text{mm}^2)$	H30.5
408	上から 9 行目	M:1 モータ 1ドラムの場合は 1/2, 1 モータ 2ドラム の場合は 1	M:1 モータ 2ドラムの場合は 1	H30.6
415	下から 1 行目	M:1 モータ 1ドラムの場合は 1/2, 1 モータ 2ドラム の場合は 1	M:1 モータ 1ドラムの場合は 1/2	H30.6
479	下から 1～3 行目	合成応力度 $\tau = \tau_x + \tau_y$ $= 42 + 7 = 49(\text{N}/\text{mm}^2) < \tau_a = 60(\text{N}/\text{mm}^2)$	合成応力度 $\tau = \sqrt{\tau_x^2 + \tau_y^2}$ $= \sqrt{42^2 + 7^2} = 43(\text{N}/\text{mm}^2) < \tau_a = 60(\text{N}/\text{mm}^2)$	H29.6